

令和8年7月9日

関係機関所属長 殿

熊本大学大学院先端科学研究部長
井原 敏博(公印省略)

熊本大学大学院先端科学研究部 物質材料・化学部門 有機高分子化学分野
助教候補者の公募について

標記のことについて、本学大学院先端科学研究部 物質材料・化学部門 有機高分子化学分野 助教候補者の公募を行うことになりました。

ついては、ご多忙中誠に恐縮に存じますが、貴機関において適任者がおられましたら、下記により貴機関において周知頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 募集職名及び人員 助教 1名
2. 採用時期 令和9年4月1日以降のできるだけ早い時期
3. 所 属 熊本大学大学院先端科学研究部 物質材料・化学部門 有機高分子化学分野
4. 専門分野 有機化学、あるいは、高分子化学
5. 担当科目 有機化学、高分子化学に関する実験科目、演習科目を含む学部・大学院科目
6. 応募期限 令和8年9月30日(水) 必着
7. 応募資格
 - (1) 博士あるいはPh. D. の学位を有する方(採用時までに取得見込みの人も含む)
 - (2) 有機化学、あるいは、高分子化学に関する優れた研究業績を有する方
 - (3) 有機化学、高分子化学、あるいは、有機―無機複合材料分野における先端的研究の推進と新分野の開拓ならびに教育活動に対する十分な能力と熱意があり、国際的ならびに社会的な研究教育活動に積極的である方
 - (4) 学部および大学院における教育・研究および組織運営に対して十分な能力と熱意がある方
 - (5) 国際的な連携ならびに産・官界や地域社会と連携に対して意欲的に活動する方
 - (6) 英語でのコミュニケーションと英語による指導や講義ができる方
 - (7) 外国人の場合には、学内外における諸業務の遂行が可能な日本語能力を有する方
8. 労働条件等
 - (1) 職務内容 : (雇入れ直後) 助教としての業務に従事する
(変更の範囲) 熊本大学の定める業務
 - (2) 勤務形態 : 同意に基づく専門業務型裁量労働制
勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす
 - (3) 任期の定め : 5年(審査により再採用可。ただし、再採用は1回までとする。)
 - (4) 試用期間 : 6か月

- (5) 勤務場所 : (雇入れ直後) 熊本大学黒髪地区
(変更の範囲) 熊本大学の定める業務
- (6) 時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有
- (7) 賃金等 : 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
- (8) 社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- (9) 雇用者 : 国立大学法人熊本大学

9. 提出書類

- (1) 履歴書 (様式なし、市販のもので可) 1部
写真を貼付し、連絡先にEメールアドレスも記入してください。なお、出産、育児、介護に専念 (あるいは従事) した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。
- (2) 申告書 (下記 URL から書式をダウンロードし、記入してください) 1部
<http://www.chem.kumamoto-u.ac.jp/job/list1.html>
- (3) 業績一覧 1部
Impact Factor 付き学術論文誌に掲載された (掲載決定済みを含む) 学術論文、国際会議論文、総説・解説、著書、登録特許、講演 (招待講演・一般講演の別を明記)、受賞歴、研究助成等 (代表・分担の別を明記)、教育実績、その他 (国際的な活動など)
書式は、下記 URL からテンプレートをダウンロードし、使用して下さい。
<http://www.chem.kumamoto-u.ac.jp/job/list1.html>
- (4) 主要論文5編の別刷り (コピー可) 1部
- (5) 現在までの研究概要 (A4用紙に2000字程度) 1部
- (6) 今後の研究計画と抱負 (A4用紙に1000字程度) 1部
- (7) 学生の教育に対する抱負 (A4用紙に1000字程度) 1部
- (8) 所見を求めうる方 (2名) の氏名・所属・連絡先 1部
連絡先は、Eメールアドレス及び電話番号を記入すること。

10. 提出方法 郵送もしくはメールにて応募ください。

・郵送応募の場合

上記提出書類をプリントしたもの1部と、そのPDFファイルを納めたUSBメモリあるいはSDカードを同封した封筒に「大学院先端研究部 物質材料・化学部門 有機高分子化学分野公募書類」と朱書きし、下記書類提出先に簡易書留にて郵送願います。

・メール応募の場合

メールの件名に「大学院先端研究部 物質材料・化学部門 有機高分子化学分野公募書類」と記入のうえ、以下のメールアドレスに送信ください。
添付する電子ファイルの形式はPDF形式とします。

11. 選考方法
- | | | |
|-------|------|--------------|
| 第一次選考 | 書類審査 | 令和8年10月上旬の予定 |
| 第二次選考 | 面接審査 | 令和8年11月上旬の予定 |
- ※面接時の旅費の経費は自己負担となります。なお、状況により遠隔による面接を行う場合があります。

12. 書類提出先
- 熊本大学大学院先端科学研究部 (工学部 材料・応用化学科)
教授 新留 琢郎
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1
E-mail: niidome@kumamoto-u.ac.jp

13. 問合せ先 熊本大学大学院先端科学研究部（工学部 材料・応用化学科）
教授 新留 琢郎
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1
E-mail: niidome@kumamoto-u.ac.jp

14. その他

- (1) 応募書類に含まれる個人情報は、国立大学法人熊本大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。なお、応募書類及び提出物は返却いたしません。
- (2) 熊本大学はダイバーシティを推進しています。また、女性研究者の活躍促進のため、パートナーとの「一緒に雇用制度」や熊本出身の方への「帰って雇用制度」を設け、採用時に研究活動のスタートアップ支援を行っております。詳細は、ダイバーシティ推進室へお尋ねください。
<https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/>
- (3) 選考に当たっては、「男女雇用機会均等法」第 8 条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- (4) 業績の評価に当たっては、産前産後休暇、育児・介護休業及び育児・介護のための短時間勤務の期間について、応募者が不利にならないよう考慮します。
- (5) 熊本大学では、教員の英語による教授能力の向上及び英語教育の強化に取り組んでいます。
- (6) 熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜助教の場合＞650 万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。
https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct